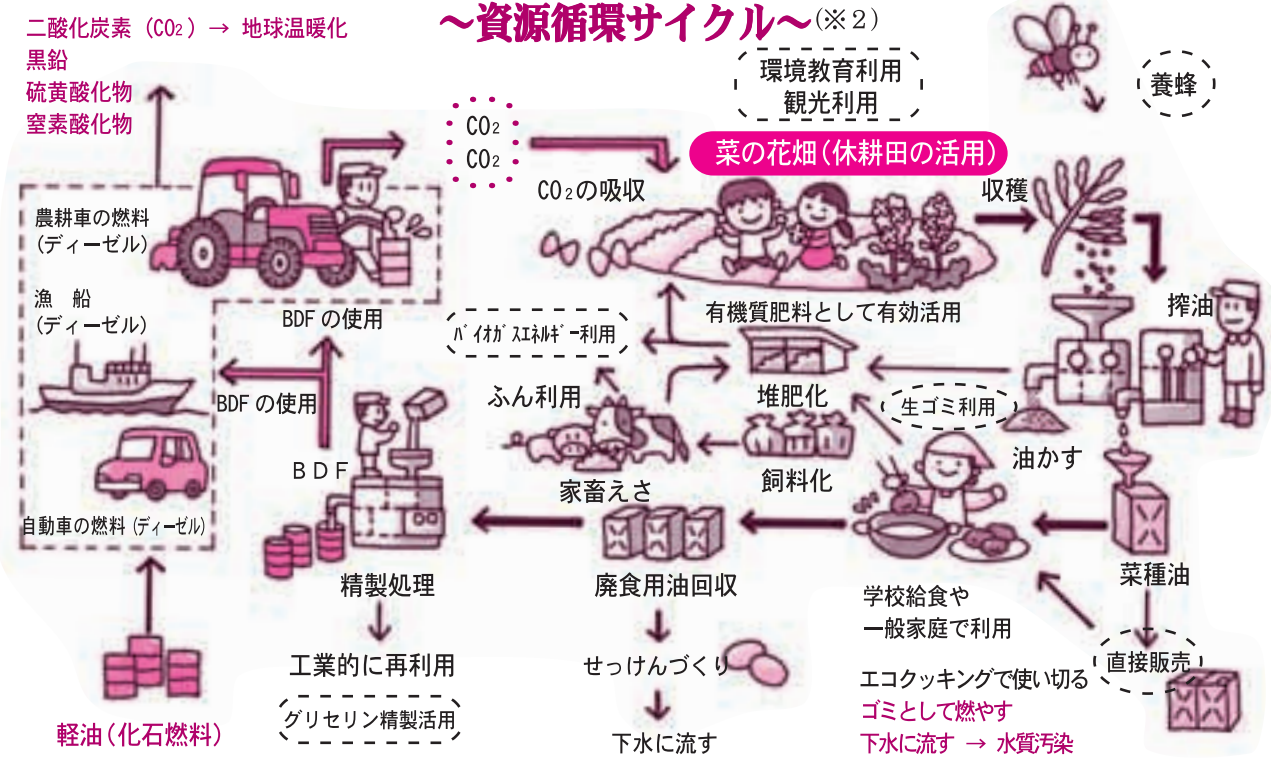




菜の花プロジェクト



① 回収した廃食用油、地域で栽培した菜の花の油をBDF化した燃料のみであい愛バスを走らせる ※あい愛バス2台を動かすには年間約2万2千リットルの燃料が必要。

② BDF精製器機を購入し、精製業者に依頼しているBDF化を自ら行い、目に見える資源循環のサイクルをつくる

近い将来の目標

● BDF車で環境学習を
BDF車を実際に小中学生に見てもらいながら、BDF、資源の循環について学び、環境学習を進めています。



▲山手小学校の実習田で試験的に栽培した菜の花

をするほか、市道山手線沿いの休耕田約1,000平方メートルで、菜の花を農家に委託して作ってもらい、その両方で菜種油の搾油量を約100リットル見込んでいます。

菜の花の苗の植えつけや、刈り取りなどを子どもたちに体験させるイベントも計画しています。

私たちの会の取り組み「菜の花プロジェクト」は、てんぷら油で車が走ったら面白いんじゃないかという発想を具体化しているだけです。ついでに菜種油を作ったらいいじゃないかとそんな軽い考えから始まりました。

我々の取り組みで、皆さんが少しでも環境に関心を持っていただければと思います。

また、BDFはいろんな可能性を秘めています。農家の人が産業として取り入れてもいいと思います。そうすれば休耕田もなくなるでしょう。また、BDFのガソリンスタンドがあってもいいんじゃないかと思えます。もしかしたら、美濃加茂市が巨大な油田地帯になるかもしれません。

BDFが定着し、美濃加茂市がBDF車の排気でてんぷらくさくさなることを想像するの面白いですね。

みのかも菜の花の会からのメッセージ



みのかも菜の花の会代表 渡辺寿一さん (森山町)

いろんな可能性を秘めるBDF

(※2) 資源循環サイクルの図：菜の花の会が理想とする資源循環サイクルを図にしたもので、菜の花プロジェクトネットワークのホームページ(<http://www.nanohana.gr.jp/>)のサイクルマップを参考にしています。